



校長通信

令和3年度 8号 令和3年8月2日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

夏休みに入り、暑い日々が続いていますが、中学校体育連盟夏季大会（市・県大会）においても、熱戦が繰り広げられ、本校の生徒が健闘してくれました。水泳部、柔道部、陸上部の選手が近畿大会にコマを進めています。和歌山県の代表として、近畿大会での健闘を期待しています。また、残念ながら県大会、近畿大会に進めなかった部は、新チームをスタートさせ、新たな体制で練習に励んでいます。



東京オリンピックで、日本勢が大活躍していますが、それに負けずとも劣らず、河北中学校の部活動も頑張ってくれています。保護者の皆様には、今後とも本校の部活動へのご支援・ご協力よろしくお願ひします。

《コロナ感染、拡大しています。ご注意を！》

和歌山県を含め、全国的にコロナの感染が、急激に増えてきました。8月1日、和歌山県では、新たに34名に陽性反応が出ています。県福祉保健部の技監は、「第5波で感染者数が増加している。ここで感染を食い止めないとだめ」と危機感を示しています。

生徒には、本日の登校日、各学級でマスク着用、消毒、手洗いの徹底を再度促します。各ご家庭でも、子供たちへの注意喚起をお願いします。和歌山市のカラオケスナックや新宮市のスナックでクラスターが発生したようです。大人としても行動を自粛していきたいところです。私も、大好きなカラオケを長らく封印しています。

《紀の国わかやま総文2021が開催されています》

「文化部のインターハイ」とも呼ばれる、高校生最大の文化の祭典、全国高等学校総合文化祭が和歌山県で7月31日から開催されています。初日は、和歌山ビッグホエールで総合開会式が行われました。全国から集まった約1900人の高校生が、新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら、式に参加しました。



私はテレビで開会式の模様を拝見したのですが、高校生のはつらつとした行進や、挨拶、会を運営する姿を見て感動しました。私が教頭として県立桐蔭中学校で勤めていた時に関わった生徒が、高校生となり開会式を統括したり、開会宣言をしたりして活躍する姿を見て、とても嬉しかったです。8月6日まで県内各地で演劇や書道、吹奏楽、将棋、囲碁など計22部門で、発表会や審査会などが行われるそうです。

高校生のみなさんの健闘をお祈りするとともに、河北中学校の生徒たちも、本校で文化活動にいそしみながら、高等学校に進学しても、更に業と心を磨き、このような全国の舞台上で活躍してくれることを期待しています。来年度は、東京都で行われるそうです。コロナが収束してくれることを願っています。